# 注力市場への取り組み

# 海外市場

特長

海外市場の素材事業では、マレーシア、ニュージーランドで生産するMDFの販売に加え、カナダ、米国で生産する単板、 LVLを中心とした北米木質素材により拡大を図っています。建材事業では、巨大な市場規模の中国、住宅需要拡大が見込 まれるインドネシアで内装ドアを中心に展開しています。

### MDFによる展開

マレーシア、ニュージーランドの2カ国4工場体制で木材の端材を有効活用したMDFの生産を手掛けています。樹種や製造ラインの特 長を活かし連携を図ることで、新たな価値を付与した製品の展開と海外市場でのさらなる販路拡大を推進していきます。

などに使用されています。

特長

### マレーシア

### 樹種: 広葉樹

マレーシア国内の合板・製材工場などから排出される端材を有効 活用した褐色のMDF。優れた耐水性、寸法安定性が求められる MDF。軽さや滑らかな表面性などが求められる家具や建材の基材 床材の基材などに使用されています。

DSK社は高付加価値の特殊MDFを生み出すなどMDF のマザー工場。2005年のM&AでDMR社と2工場体 制に。植林木であるアカシア100%のMDFも開発 し、新たな用途展開も進めています。

## マレーシアでの植林活動

安定調達の実現に向け、2002年か らマレーシアのサラワク州でアカシ アの植林を開始し、累計植林面積は 9,500ha以上となりました。MDFに 使用する木質原料の植林木比率を 現状の約50%から、2025年度には 100%に高めることを目指し、持続 可能な原料調達を行っていきます。





ニュージーランド

樹種:針葉樹 ニュージーランドの植林木ラジアタパインを使用した白色の

「Customwood」ブランドでグローバルに認知され

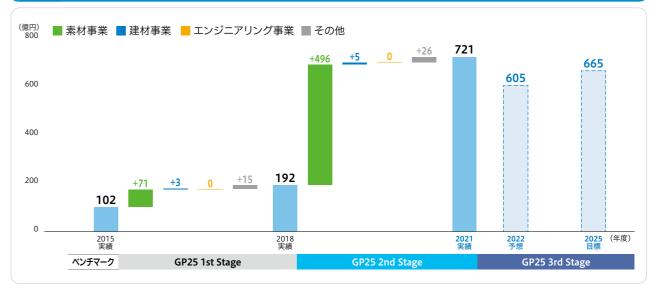
るMDF。超軽量MDFなど顧客ニーズに対応した製品

開発に加え、DNZ社、DSL社のそれぞれの製造ライ

ンの特性を活かし生産品目の最適化を図っています。



# 海外市場 売上高推移





CIPA Lumber Co. Ltd. (CIPA社)

### PACIFIC WOODTECH CORPORATION (PWT社)

立:1998年1月 → 2019年6月にグループ化 所在地 :米国(ワシントン州バーリントン市) 事業内容:構造用LVLおよびI-Joistの製造・販売

2022年6月22日、PWT社がLouisiana Pacific社より、住宅用構造材製造事業(Engineered Wood Products事業)を取得する旨の合意と、取得に伴い伊藤忠商事(株)を引受先とする増資計画を発表。 これに伴い当社の連結子会社から持分法適用会社に移行する予定です。(現地当局の許可を前提として 2022年8月予定)

営業拠点 生産拠点 素材事業 建材事業

### 北米木質素材による展開

資本業務提携関係にある伊藤忠商事(株)と共同出資のカナダ単板工場CIPA社および米国LVL工場PWT社による北米木質素材事業を軸に 世界最大の木造住宅市場への展開を進めています。



※I-Joist(I-型ジョイスト):OSB(Oriented Strand Board:原木から切削された長方形の薄い木片を表面層とコア層で繊維方向に直交するように重ねて高温圧縮した構造用木質ボード)と LVLや製材の複合による構造材。

39 DAIKEN GROUP REPORT 2022 DAIKEN GROUP REPORT 2022 40